

医療法人同友会の広報誌

ヘルシーフラガ

No. 82

2021年12月号

特集

コロナ禍の医療現場について
ハーモニー共和での経験
医療ソーシャルワーカーとは
健診 コロナ禍のリスク
健康レシピ



同友会グループ

共和病院

訪問看護ステーション

きょうわ

ケアプラセンタ-きょうわ

介護付き有料老人ホーム

メディケアホームきょうわ

介護老人保健施設

ハーモニー 共和

特別養護老人ホーム

万寿苑

URL <http://kyowa-hp.net/>

コロナ禍 共和病院での取り組み



5階、コロナ病棟。一般病床との隔離、ゾーン分けを行っています。写真は、レッドゾーンの様子。

2020年～2021年、新型コロナウイルス感染症が世界中に拡がり、社会が一変しました。その中で、共和病院においてどのような取り組みを行ってきたのか、特徴的な部分を紹介いたします。

5 F 病棟での経験

新型コロナ患者の受入

2021年4月、外来での新型コロナ陽性患者さまの入院先が見つからず、急遽共和病院で受入れることになりました。

2020年から発熱外来がはじまり、新型コロナ退院患者さまの受入も行っていましたが、2021年に入り入院先の見つからない患者さまの受入れも院内で議論しました。現場では受入れざるをえない状況がくる準備をしていましたが、それが現実になりました。大急ぎで設備やスタッフ体制の整備を行い、新型コロナ感染症の重点医療機関の指定を受けました。

2021年、第4波、5波の経験 医療ひっ迫の現場

感染を拡げないよう病棟をゾーンに区分けし、スタッフが感染しないための対策をしっかりと講じたうえで、患者さまのケアを第一に。

感染が急拡大した時期には、病院業務はひっ迫しました。2021年8～9月にかけて、5階に設けたコロナ病棟が満床となる時期が続き、要請があっても受け入れられないことも。

春先の第4波では高齢の方が多かったのに対して、夏の第5波では明らかに若い方が増えました。介助が必要な場合が多い高齢者と、自立の状態の若い方では対応も異なり、それぞれが初めてのことでとまどいながら新しい経験となりました。



*イエローゾーン。一般病棟業務を行うグリーンゾーンとレッドゾーンの間。ここで个人防护具を着脱する。

スタッフの困難と努力

最も大変なのは人員の確保。病棟スタッフの中で議論を重ね、他部署から人員の応援を受けながら経験のあるスタッフが日ごとに交替でコロナ病棟を担当することに。担当者は他のスタッフとの接触が制限され、一人で判断することも必要となるため、人手だけでなく知識や経験も求められます。

自分が感染し、他の患者さまやスタッフ、家族に移してしまったらという不安を抱えながらも、目の前の患者さまのために最善をつくすという思いで取り組んでいます。対策を徹底した結果、院内でのクラスターは発生していませんが、気を緩めないようにしたいです。



*病室内部。ベッド脇に設置しているのがウイルスを含んだ空気を廊下側に出さないようにする簡易陰圧装置

5階病棟北側。出入りができないようにしています。



面会・外出の禁止、制限について

共和病院では、特別な場合を除き引きつづき面会を禁止させていただいています。患者さま、ご家族さまにはストレスフルな状況が続いていることを心苦しく思います。少しでも面会ができるようにと考えていますが、感染再拡大への備えもあり、引きつづきご不便をおかけすることがあると思います。ご理解・ご協力、よろしくお願いいたします。

発熱外来診療

意識・行動の一致 物資が不足する中で

2020年、発熱外来診療が始まってすぐのころは、とにかく物資が不足しました。ガウン、ゴーグル、手袋、マスク…。自分たちが感染しないか、感染を拡げてしまわないかという不安、物資が不足するという不安、経験したことのない状況の中で試行錯誤が続きました。その中で何よりもスタッフの意識と行動の一致をみることから始めました。スタッフが困っていること、疑問に思うことを何度も議論し共有することで、院内での感染を防ぐという成果に結びつきました。

発熱外来の流れ

発熱や新型コロナ感染症の疑わしい症状がある患者さまは、一般の診察とは別の隔離したスペースで問診・身体の状態の確認・検査を行います。レントゲンやC Tが必要になることもあり、新型コロナ陽性で入院が必要と判断した場合、保健所と相談のうえ入院先を探すことになります。

部署間の連携 患者さまの安心安全のために

患者さまの安心安全を最優先に考え、来院時に対応した受付スタッフと外来看護師が、情報を共有しながら新型コロナ感染症の疑いがあるのかそうでないのか連携を密にとって対応させていただいております。

発熱外来では、患者さまから直接問診をとり検査を実施する看護師と、検体を運ぶなどその他の業務を行う看護師を明確に分け、レントゲン・C Tなど他部署との連携も重要です。その分、人手も対応時間も多く必要となります。

2021年8月～9月にかけては、発熱外来の患者数・陽性者数とも一気に増え、電話が鳴りっぱなしで、可能なかぎり対応させていただきました。8月の当院の発熱対応での陽性率は38%、陽性率が100%の日もありました。現在（2021年11月）は発熱対応の患者数も陽性率も一気に下がりましたが、患者さまが安心して来院できるよう引き続き対策を徹底します。



空間が限られる中、隔離した形で来院いただけるよう、導線を確保

発熱外来の流れ

電話にて受付、直接来院は×



医師・看護師が対応可能な場合
完全時間指定の来院予約



病院玄関とは別の入口から来院
入る前に看護師が対応



隔離された部屋にて問診・検査
院内での抗原検査、PCR検査



検査結果陽性の場合、保健所と
連絡をとり入院・療養などが決定する。

(医師の診断によってはレントゲン
や胸部C T検査も行う。)



2021年5月にPCR検査装置を導入（左）。
右の装置は、病原体を扱うための安全キャビネット。

第6波のリスク 感染再拡大を想定した備えを

10月以降、感染者数が一気に減少し社会が少しずつ動き出したことを感じます。年末年始は人の流れがより多く活発になることが予想されます。海外では、ヨーロッパや韓国などワクチン接種が進む国でも感染者が急速に増えています。日本でも3度目のワクチン接種のニュースが出ていますが、何よりもまず感染防止の基本対策をつづけなければならないと思います。状況は良い方にも悪い方にも変わりえます。病院でも、ワクチン接種はじめ状況に応じた様々な情報を発信していきたいです。

介護老人保健施設

ハーモニー共和の経験と取り組み

コロナ禍のなか、高齢の方々が生活される施設ではどのような状況にあるのか。介護老人保健施設であるハーモニー共和での経験を聞きました。



感染拡大を防ぐための努力

2020年4月、職員の感染により通所リハビリテーションを4日間営業停止することに。まだ情報が少ない中で感染防止対策を大急ぎで行いました。職員の対策、外部の人との接触を無くす、イベントの中止や縮小。ご家族さまの面会も一旦禁止し、その後はタブレットを使った面会にしました。外出イベントもこの間ずっとできず、会えない・外に出られないというストレスのかかる状態が続いているかと思います。感染拡大が急速に落ち着いた現在、油断はできませんが、隔離したスペースでの面会を一部できるようにしたりと、試行錯誤が続きます。

職員たちのコロナ対策 ー認識の統一からー

2020年4月、デイ職員の感染がわかる。当時、社会的にそれほどまで広まっておらず、職員の中でも認識がばらばらだった。そのため対策するうえでも、何よりもまずは認識の共有から。

体調の管理、自分がかからないための対策、施設内での対策の徹底。また自分だけでなく家族や接した人の状態も把握しなければならなかった。幸い感染の拡大は防ぐことができ、一時停止したデイも再開できることに。

2021年8月、大阪で感染が爆発的に増えた時期は、職員の中でも濃厚接触で自宅待機も増えた。保健所や病院とのやりとりに忙しく走り回るとともに、スタッフ不足が深刻となった。シフトを調整するなど何とかやりくりしたが、入所者さま・利用者さまの安全・安心のためによりしっかりと対策を徹底したいです。



高齢の方々特有の困難を和らげるために

高齢の方は、熱が出やすかったり平熱が高かったりする場合が多くあります。別の症状のため受診をしたくても発熱のためにできないということが現在もあります。発熱が併発する場合、コロナの検査をしたうえで本来の症状について受診します。感染の拡大で病院の業務自体がひっ迫する中、医療を必要とされる高齢者が多く生活される施設ではよりいっそうの困難がありました。

入所者さまや利用者さまのケアはもちろん、負担の増える職員のケア、職員間の連携、法人内での連携が大切であるということを改めて感じました。

法人内での連携、つながりの大切さ

施設を一時営業停止にしたとき、困ったものの一つが入浴でした。その際すぐに法人内で連絡・相談し、入所者さまを万寿苑まで送迎し入浴していただくということがありました。職員の感染や濃厚接触の際には、すぐさま共和病院で発熱外来を受診し、できるかぎり迅速に検査をしました。施設単独でなく、法人内で感染対策を議論・共有し徹底させることも大切な取り組みでした。

入所者さま、家族さまの想いに応えるために

まだまだ、元に戻ったといえる状況ではないですが、一つでもできることはないかと工夫しています。家族さまを招いてのイベントはできず心苦しいかぎりですが、何とか顔を見て面会ができるように、またフロアごとのイベント開催を行うなど、入所者さま・利用者さまの想いに応えることができるようにしていきたいです。



2021年10月に、フロア別に行われたハーモニー祭の様子。

医療ソーシャルワーカー（MSW）のお仕事

病院の「顔」として、患者さま・家族さま・病院・施設・地域をつなぐ

「その人らしい生活」の支援

生活保護

医療機関・施設情報



医療ソーシャルワーカーとは 「つなぐ」役割

医療ソーシャルワーカー（MSW）とは、患者さまが自立した生活を営むことができるよう、社会福祉の立場から本人や家族の抱える社会的・心理的な問題を解決するための専門職です。「その人らしい生活」を支援し、人と人をつなぎ地域の懸け橋となる、病院の窓口（顔）となる仕事です。

共和病院には3名のMSWがおります。医療福祉課に所属し、地域連携担当者2名と入退院支援看護師1名と一緒に仕事をしています。高齢化率の高い生野区では、退院支援において介護施設とのやりとりや、金銭的な問題の解決が多く提起されていることが特徴です。

医療福祉課は病院南館3階にございます。

「会えない」ということ コロナ禍での難しさに向き合う

コロナ禍で一番の困難は「会えない」ということです。面会禁止の中、ご家族や身近な方の顔を見れず話せないことで過度のストレスを感じたり認知症が急激に進行するといった影響が出ています。また、ご家族が患者さまの状況を実感をもって把握できないということもあります。今後の相談や退院支援などの際、言葉では説明できても、実際に見ていない中で納得感をもっていただくことは難しいと思います。ケアマネージャーさんとのやりとりでも同様です。

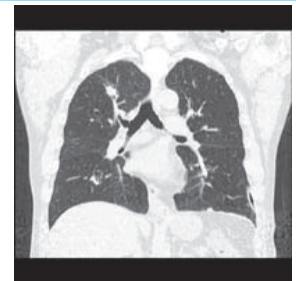
さらに、入院患者さまは外出も制限されるため、身寄りの居られない患者さまのお買い物をソーシャルワーカーが代行せざるをえないということが今でも多くあります。

改めて人と人が「会う」ということの大切さを感じる日々です。現在の状況を心苦しく思いますが、人と人をつなぎ患者さまの「その人らしい生活」を支援するため力になれるよう、福祉課一同努力いたします。お気軽にご相談ください。



MSW(相談員)	3 F: 木下
病棟担当	4 F: 高
	5 F: 木下
	6 F: 米沢
	7 F: 高

健康診断 結果をチェック コロナ禍におけるリスクは？



健診控えが最大のリスク

コロナ禍で最も顕著なリスクは、健診控えです。ガン健診や生活習慣病健診は、異常を早期に見つけることが大切。発見が遅れると大きな病気になるったり致命的な事態にもなりかねません。

全国的にいわれますが、共和病院でもコロナ禍においては、健診を受ける患者さまの数はそれ以前と比べて2割程度減っています。外に出歩かないことで運動不足となり、数値に影響が出ることも考えられます。コロナ禍で改めて生活習慣を見直すとともに、健診をきちんと受けられることをおすすめいたします。

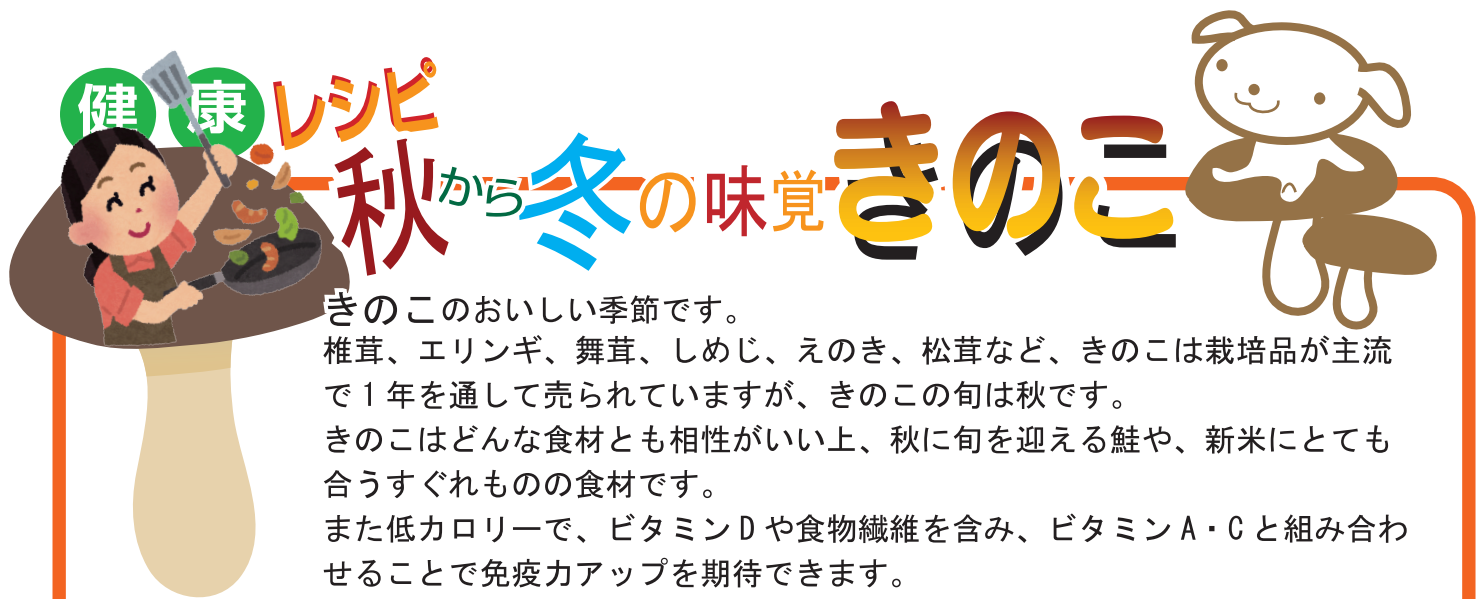
共和病院では、安心して健診を受けていただけるよう、検温や体調確認、器具の消毒など感染対策を万全にしております。

共和病院保健予防科より

共和病院で受けられる健診の種類

一般の健診、企業健診、特定健診、生活習慣病健診、後期高齢者医療健診、大阪市がん検診、介護予防健診、事業参加健診、人間ドック各種、脳ドック、肺がんCT検診、前立腺MRI、その他オプション検査

項目	基準値	今回
【身長】	判定	判定不飽
【体重】	判定	判定
BMI	18.5~24.9	25.0
血圧	119.1~139.9	140.0
コレステロール	150.0~199.9	200.0
血糖値	100.0~129.9	130.0
【尿酸値】	判定	判定
AST	~30	31
ALT	~30	31
γ-GTP	~30	31
【尿酸値】	判定	判定
尿酸値	360~420	430
尿酸値	40~	41
尿酸値	30~149	150
尿酸値	150~179	180
【尿酸値】	判定	判定
尿酸値	~1.00	1.01
尿酸値	60.0~	61.0
尿酸値	判定	判定
尿酸値	2.1~7.0	7.1
尿酸値	判定	判定
尿酸値	~99	100
尿酸値	判定	判定
尿酸値	(-)	(-)
尿酸値	~8.9	9.0



きのこのおいしい季節です。

椎茸、エリンギ、舞茸、しめじ、えのき、松茸など、きのこは栽培品が主流で1年を通して売られています、きのこの旬は秋です。

きのこはどんな食材とも相性がいい上、秋に旬を迎える鮭や、新米にとっても合うすぐれものの食材です。

また低カロリーで、ビタミンDや食物繊維を含み、ビタミンA・Cと組み合わせることで免疫力アップを期待できます。



きのこのビタミンDを効率よくとろう！

ビタミンDは油との相性がよく炒め物や揚げ物に。さらに干したものは、ビタミンDも、うま味も増加します。

例) 干し椎茸、きくらげ

ビタミンDは、適度な日光浴で体内で合成されるため、外に出る習慣をつけましょう。
(ガラス越しは効果なし)



『きのこたっぷり♪豚キムチスープ』

◎材料 (4 人前)

- ・ 豚肉バラ肉 100 g
- ・ えのき 1 パック
- ・ しめじ 1 パック
- ・ 干し椎茸 4 枚
- ・ キムチ 200 g
- ・ ニラ 1 束
- ・ 人参 15 g
- ・ 鶏がらスープ素 小さじ4
- ・ 味噌 大さじ4
- ・ ごま油 適量

◎作り方

- ① えのきとしめじは長さ3 cmに切ってほぐす。
水で戻した干し椎茸と人参は線切りにする。
ニラは3 cm幅、キムチと豚バラ肉は5 cm幅に切る。
- ② 鍋に水400 ccと鶏がらスープ素とニラ・キムチ以外の①を入れ5分ほど煮る。
- ③ キムチを加えてひと煮たちさせ、火を止めて味噌を溶き、ごま油で風味付けし、ニラを加える。



Point! **きのこ** にプラスで **免疫力アップ!**

たんぱく質や野菜 (豚肉や人参) を組み合わせ・・・

鼻・喉の粘膜を守る

発酵食品 (キムチ) を組み合わせ・・・

腸内の善玉菌を増やす

共和病院 外来診療担当表

※都合により、担当医が急遽変更となる場合がございますので、予めご了承ください。

診療科目		月	火	水	木	金	土
内科1	午前診療 9時～ 13時 受付12時半まで	李 哲有	新田 貢 (～11時)	李 剛至	辺 秀俊 (～11時)	李 剛至 診察室⑥	松井優紀
内科2		神谷智雄 診察室⑥	兪 秀徳	李 哲有 診察室⑥	兪 秀徳	李 哲有	
消化器科		新田 貢	金 幸富		神谷智雄	辺 秀俊	新田 貢
呼吸器科				辺 秀俊 診察室③			飯田慎一郎 診察室⑧
循環器科			李 剛至			中島大成 診察室①	
糖尿病内科				崔 静姫 診察室②			水江久一 診察室②
整形外科		京 宗三	京 宗三	金 石哲	京 宗三	金 石哲 (第4金曜日は受付10時半迄)	京 宗三
泌尿器科					奥見 雅由		花井/西野
皮膚科							崔 灵壽
脳神経外科						金 安明	
神経内科					堀川博誠		
小児科	午前	金 学良		金 学良	金 学良	金 学良	金 学良
	午後※		金 学良			金 学良	
もの忘れ外来1	午前		八木昭彦				
	午後※		八木昭彦	八木昭彦	八木昭彦	八木昭彦	
もの忘れ外来2 第1第2は午前/第4は午後 ※第3第5は休診	午前				高 富栄 第1・第2・第4		
	午後※				高 富栄 第1・第2・第4・第5		

※ 小児科 午後 15:00～16:30 (受付時間 15:00～16:00) ※ もの忘れ外来1 午後 14:30～16:00 ※ もの忘れ外来2 午後 14:00～16:00
夜の診療 17:30～19:30 (受付 17:00～19:00) ※ は予約制です。

診療科目	月	火	水	木	金
内 科		李 哲有	李 剛至	兪 秀徳	
整形外科			金 石哲		



2021年12月現在

共和病院は、日本医療機能評価機構の認定病院です。

「病院機能評価」とは、日本医療機能評価機構による評価です。中立・公平な専門調査チームによる「病院機能評価」審査を受け、一定の水準を満たした病院は「認定病院」とされます。

共和病院では2021年、病院機能評価の継続審査を受け認定を受けました。

評価項目には、「患者さんの視点に立って良質な医療を提供するための必要な組織体制」や「実際に医療を提供するプロセス」、「病院全体の管理・運営体制」など、約90項目あります。

患者さまの命と向き合う病院には、医療の質を担保するために備えているべき機能があります。信頼できる医療を確保するために、病院の課題を明らかにし医療の質を引き続き改善していきたく思います。



日本医療機能評価機構
認定第〇〇〇〇号



【ルール1】

タテヨコ9列どの列にも1～9の数字が1個ずつ入る。

【ルール2】

3×3で区切られたのどのブロックにも1～9の数字が1個ずつ入る。

【ルール3】

どの数字もたてよこ重ならない。

どの数字が当てはまるのか
推理しましょう!

回答は紙面のどこかに...

NUMBER PLACE

3	7	4			6	9	
		6		9	3		5
5	6		2			7	4
6		1		8		4	7
		8		1		2	3
9	7		8		3		2
8		4				5	9
	2		1		5		4

わたしたちといっしょにはたきませんか？

ナンプレの回答

1	3	7	4	5	8	6	9	2
4	8	2	6	7	9	3	1	5
5	6	9	2	3	1	8	7	4
6	9	1	3	8	2	4	5	7
2	4	3	5	6	7	9	8	1
7	5	8	9	1	4	2	6	3
9	7	5	8	4	3	1	2	6
8	1	4	7	2	6	5	3	9
3	2	6	1	9	5	7	4	8



看護師さん 募集！ 准看護師さん



福利厚生充実！
パートさんにも賞与あり！

子育て応援！
ママさん活躍中

スキルアップを
応援中！！

詳しくはお電話で

☎ 070-4387-5425 (人事直通)

Mail jinji@kyowa-hp.net

同友会グループ（共和病院内）総務人事部まで

共和病院のご案内

- 創立 1967年3月1日
- 所在地 大阪市生野区勝山南4丁目16番10号
TEL. 06 (6718) 2221/FAX. 06 (6718) 2229
- 病床数 199床
- 診療科目
内科・外科・呼吸器内科・消化器内科・消化器外科
循環器内科・神経内科・小児科・整形外科・泌尿器科
皮膚科・肛門外科・精神科・放射線科・リハビリテーション科・
脳神経外科・人工透析内科・人間ドック
- 専門外来
糖尿病外来・循環器外来・肝臓病外来・禁煙外来
もの忘れ外来
- 診療時間
月～土 午前9:00～午後1:00 受付12:30迄
火水木 午後5:30～午後7:30 受付 7:00迄
- 休診 日曜・祝祭日・年末年始
- 指定
(財)日本医療機能評価機構認定病院
日本整形外科学会専門医制度研修施設
身体障害者診断認定施設
大阪府指定肝炎専門医療機関

共和病院の理念

医療人にとって最も重要なことは・・・
人間に対する限りない愛情と
患者に対するつきない真心です

基本方針

1. 患者さまの権利と意思を尊重し、患者本位の医療を行います。
2. 医療知識と技術の修得に努め、安全で良質な医療を提供します。
3. 急性期、回復期から慢性期、在宅までの一貫した医療の提供に努めます。
4. 地域の医療機関や施設と連携し、医療、介護、福祉の発展に寄与します。
5. 職員が誇りとやりがいを持って働く、活力ある職場づくりを目指します。

共和病院患者権利憲章

1. 患者さまは、常にその人格を尊重され、良質な医療を平等に受ける権利があります。
2. 患者さまは、治療法や検査の有効性や危険性、他の治療法の有無などについて、わかりやすい説明を受ける権利があります。
3. 患者さまは、検査の結果や治療法の説明に対して、他の医師の意見を参考にする権利があります。
4. 患者さまは、治療法などを自らの意思で選択できる権利があります。また、医療機関を選択し、転退院する権利があります。
5. 患者さまは、自分の診療記録の開示を求める権利があります。
6. 患者さまは、個人の情報やプライバシーが保護される権利があります。
7. 患者さまは、良質な医療を実現するため、医療提供者に対して自分の健康に関する情報を正確に伝える責務があります。
8. 患者さまは、他の患者さまの治療や職員の業務に支障をきたさないようにする責務があります。